

大学便り

大学にとって、学生の皆さんは宝物です。将来の我が国を背負って立つ若者達が大学には集まっています。彼らの可能性は無限です。その可能性に満ちた学生たちの表情を見るだけで、大学にいる幸福感に浸ることが出来ます。

その学生たちが入学してから卒業するまで、そして卒業した後までもきちんと追跡できるような仕組みを作ることが、私たちの夢の一つです。学生たちをしっかり育て、社会に送りだし、彼らが社会で活躍しているところまでを、大学として把握しなければなりません。卒業後の情報収集に関しては同窓会の役割が極めて大きいと思います。折に触れ、いろいろご意見を伺い、相談させていただきますので、どうぞよろしくお願い致します。

報告になりますが、一号館一階のトイレを改修し、パウダールームが付属した大変明るい雰囲気のとろける空間を作りました。加えて1号館の地階には、学生たちが少人数のグループワークがしやすいようにラーニングcommonsを設置し、教育支援センター(Eサポ)が移動してきました。こんな場所を学生たちは求めていたのかと改めて気付かされましたが、連日学生達で大変賑わっています。同窓会の皆さんも是非お時間のある時に、学生たちの活気に満ちた表情を見にお立ち寄りください。

東北文化学園大学
学長 土屋 滋



輝

KIRARI

TBG同窓会報

TBG Alumni Association News

vol. 9

[2015.9.1]

Contents

会長挨拶	2
新学生部長挨拶	3
同窓会設立10周年記念式典・祝賀会	2-3
同窓会オリジナルエコバッグ・同窓会旗	3
平成26年度事業報告・決算報告	4
平成27年度事業計画・収支予算	4
ホームカミングデーのご案内	5
文化学園祭のお知らせ	5
あの感動を今年も!“第九コンサート”	5
平成27年3月卒 同窓会新役員	5
大学近況報告	6
恩師から	6
輝人	7
大学便り	8
あとがきにかえて	8

《お願い》 住所変更をお知らせください

本会では、同窓会報を始めとする各種ご案内を会員の皆様へお送りしております。ご住所、お名前の変更があった場合には、本会へお知らせください。変更の情報は、同窓会公式WEBサイトから、もしくは郵送にてご連絡をお願い致します。

【問い合わせ先】

東北文化学園大学同窓会事務局
仙台市青葉区国見6丁目45-1
大学事務局教務部学生課内
電話 022-233-6194

※お預かりした個人情報は同窓会活動のみに利用し、名簿の販売・頒布は行いません。

携帯サイトはこちら▶



同窓会費の納入について

本会は、会員の皆様からの会費により運営を行っております。平成25年度以前の会費は、入学時に入会金として5,000円、卒業時に終身会費10,000円の納入をお願いしております。また平成26年度からは入学時に会費として15,000円の納入をお願いしております。まだ会費を納入いただけていない場合は、会費の納入をお願いいたします。

【会費振込先】

仙台銀行本店営業部
普通預金 4755741
トウホクバンク カ ガクエンダイガクドウソウカイ
東北文化学園大学同窓会

※お振込の際は、学籍番号とお名前を必ずご入力ください。学籍番号は同窓会報送付封筒に印字しております。※恐れ入りますが、振込手数料はご負担ください。

同窓会WEBサイトを ご活用ください

平成22年より、同窓会公式WEBサイトでは、同窓生に関わる情報や学園のイベントなどを皆様にお届けしています。また、会員同士が自由に情報を発信し交流ができる、「同窓生の輪」というコンテンツもあります。短大、大学の卒業生が未永く、縦・横の繋がりを維持し支え合っていくために作成されました。皆さんどんどん活用してくださいね!!

携帯サイトはこちら▶



あとがきにかえて

繋がりの輪をひろげませんか?

医療福祉学部 保健福祉学科 保健福祉専攻 平成21年3月卒業
東北文化学園大学 進学センター勤務 同窓会理事 **高橋 美絵**



H26.10.18
ホームカミングデー

本学を卒業して早幾年...とは言い過ぎかもしれませんが、卒業したからこそ見えること、在学しているからこそ見えることは案外違うように思います。

震災から早くも4年が経ち、様々な事情から繋がりがあった人たちとの連絡等疎遠となることが多くなる

中、変わらずに付き合える仲間や例年行われる行事といったものは本当に貴重だと感じます。

ネットでの繋がりが増える中、このような同窓会報やホームカミングデー等、直接見れるような機会は少なくなっているのでは是非活用頂ければと思います。



会長挨拶



同窓会 会長
堀江 裕宗
平成15年3月
科学技術学部応用情報工学科卒

同窓会発足10周年記念式典が昨年、平成26年12月13日に行われました。初めての周年式典ということもありましたが、会員の皆様はもとより、ご来賓の方々及び教職員、事務局の方々のご尽力をいただきまして無事に終えることが出来たことを改めて御礼申し上げます。

式典内で講演いただいた手話シンガーの水戸真奈美さんのように一線で活躍されている卒業生が現在はもちろん今後も増えていくことで同窓会として成熟していくんだと感じました。

しかしながら、同窓会の本来の機能としてはまだまだであり、参加率の問題が浮き彫りとなった式典となりました。一日一日を邁進している世代で構成されている本会としては中々解決しづらい問題ではありますが、それでも懐かしむ為の同窓会でなく、今自分が経験してきた事を同窓生や後輩たちを共有し、仲間としてともに成長していける。そんな会にしたいと私は考えております。その為にも会員の皆様、関係者の皆様には今後とも更なるご協力とご支援を賜りますよう、よろしくお願い致します。

新学生部長挨拶



学生部長
同窓会監事
須藤 諭

東北文化学園大学同窓会の皆様、平素から本学の教育研究にご支援をいただきありがとうございます。平成27年4月学生部長に就任した須藤諭です。科学技術学部建築環境学科に所属しており、専門は建築設備学であり建物のエネルギー消費に関する研究を行っております。本学に勤務して23年、多くの卒業生を社会に送り出してきましたので、同窓会発展のために微力ながら貢献したいと思っています。

さて、学生部長は同窓会の監事を務めさせていただくことになっており、私の監事としての初仕事は、第27回同窓会理事会に向けて平成26年度の同窓会事業と決算について監査をすることでした。同窓会のことを勉強するには、とても良い機会となりました。

4月某日、同窓会事務局の寺久保さんから、分厚いファイルと何冊もの銀行預金通帳を渡され、監査に臨みました。同窓会報の発行、会員名簿の管理、保護者懇談会の支援、ホームカミング・デーなど、実に多くの事業を

行っておられることを認識いたしましたし、昨年度はこれらの事業に加えて、同窓会10周年記念式典及び祝賀会を立派に開催されるなど、活動のさらなる充実ぶりがよく分かりました。卒業式には記念品を贈呈していただくなどしており、後輩学生のためにも実に多くのご支援を下さっていることに改めて感謝しながらの監査となりました。

本学は学生にとって“面倒見の良い大学”であることを標榜しておりますが、これからはエンrollment・マネジメントが重要になってくると言われております。要するに卒業生に対しても“面倒見のよい大学”を意味しますが、本学の一人として卒業後の皆様に対しても役に立てよう努力したいと思っております。そして、同窓会はその橋渡しになっていただく非常に重要な組織であると期待している次第です。

今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

同窓会設立10周年
記念式典・祝賀会
明日へつなぐ

平成26年12月13日(土)午後4時から青葉区上杉の「勝山館」にて約50人の参加のもと同窓会設立10周年記念式典・祝賀会が開催されました。式典では手話シンガーとして活躍の本学卒業生の水戸真奈美さん(2005年3月総合政策学科卒)の記念講演&手話ソングライブが行われました。

命の大切さが伝わってくる曲「INORI」にはじまり、最後は会場の皆さんと一緒に手話をしながら歌った「笑顔」で会場全体があたたかい空気で包まれました。また、設立当初から役員をさせていただいている方々に後輩から花束が贈られました。

祝賀会では堀江会長の挨拶にはじまり、先生方や水戸さんにスピーチをいただき、美味しい料理と飲み物や大学の映像、そしてお楽しみ抽

選会などを楽しみながらおおいに盛り上がり、最後に同窓会から大学への記念品として「コブシ」の木の植樹とテントが贈られました。

まだまだ設立して10年と若い同窓会ですがこれからのますますの発展に、そして20年後30年後の明日へつなぐ素晴らしい機会となり盛況のうちに終了しました。



水戸真奈美さんライブ①



水戸真奈美さんライブ②



手話を皆さん!



テーブルを囲んで②



テーブルを囲んで③



学長 土屋滋先生



後輩から先輩役員へ花束贈呈



全員集合!



堀江会長あいさつ



学長補佐 佐藤直由先生



科学技術学部長 牧野正三先生



保健福祉学科長 豊田正利先生



同窓会から寄贈の目録を渡しました



乾杯!!



テーブルを囲んで①



就職・広報局長 松永哲夫



大学の歩みの上映



お楽しみ抽選会

※役職名は平成26年12月現在



植樹した「コブシ」の木



植樹イベント参加の面々



テント(平成27年度入学式)

寄贈品
ショット

同窓会オリジナルエコバッグ

同窓会でキャラクターをあしらったオリジナルのエコバッグを作ったらいかがでしょうかとキラレンジャーファンから提案があり、さっそくデザインなどを考え製作しました。製作したエコバッグは新入生及び在学生にガイダンスで配布資料を入れてもらえればと贈りました。同窓会キャラクター「キラレンジャー」がプリントされています。小さく折りたたむことも出来大好評でした。



同窓会旗

平成27年度の同窓会事業計画である同窓会旗の製作に取り組み、写真の旗(841×1189mm)を作りました。今後いろいろな活動で利用して行きます。



平成26年度 東北文化学園大学同窓会事業報告

1. 会報の発行、ホームページ等の管理運営、会員名簿の作成

- (1) 同窓会報発行
同窓会報第8号 平成26年9月発行
(2) 公式Webサイト管理運営
事務局とWebサイトプロジェクトチームにより随時データ・掲載内容を更新
(3) 会員名簿の整備・作成

2. その他本会の目的を達成するために必要な事業

- (1) 会費徴収業務
平成26年4月 平成26年度入学生(16期生)対象
平成26年9月 平成26年3月卒業生(12期生)未納者
平成27年3月 平成27年3月卒業生(13期生)対象
(2) 会員サービス業務
入学生向け学園CD制作・配付、卒業生向け記念品(ボールペン)制作・配付
(3) ホームカミングデー開催(平成26年10月18、19日)
屋台企画 餅つき、お汁粉振る舞い実施
(4) キャラクターの商標登録取得
(5) 東北文化学園大学同窓会設立10周年記念イベント
平成26年12月13日(土)「勝山館」2F瑞雲の間
第一部 式典・記念講演&手話歌ライブ 16:00~17:00
第二部 祝賀会(立食形式) 17:00~19:00

3. 会議及び監査

- (1) 理事会 第24回(5月24日)、第25回(7月26日)、第26回(3月14日)
(2) 代表者会 平成26年10月19日(日)10:00から5号館2階 第2会議室
(3) 会計監査 平成26年5月2日、5月7日 同窓会監事による会計監査
(平成25年度) 平成26年5月29日 監査法人による会計監査

平成27年度 東北文化学園大学同窓会事業計画

1. 機関誌の発刊、ホームページ等の管理運営

- (1) 同窓会報発行(年一回)
(2) 公式Webサイト管理運営

2. 会員名簿の整備及び管理

- (1) 会員名簿の整備・更新
(2) 会員住所判明調査

3. 講演会、懇談会等の開催

- (1) ホームカミングデー(文化学園祭出席など)
(2) 大学等主催イベント支援

4. 「進路・就職支援」及び「正課外活動支援」等、在学生に対する支援

5. その他本会の目的を達成するために必要な事業

- (1) 会費徴収業務(入学者・卒業生・既卒者 督促含む)
(2) 会員サービス業務(学園CD制作・卒業記念品作成等)
(3) 大学広報誌との連携
(4) 広報宣伝
キャラクターの活用
(5) 国際交流支援
(6) エコバッグの作成
(7) 同窓会旗の作成
(8) 同窓会パソコンのデータ整備
(9) 平成28年度総会準備
(10) 式典祝花
入学式、卒業式

6. 会議及び監査

- (1) 理事会
(2) 代表者会(年一回)
(3) 会計監査

7. 中長期計画の見直し



●平成26年度 東北文化学園大学同窓会 決算報告

第12期(平成26年4月1日~平成27年3月31日)

Table with 4 columns: 科目, 予算額, 決算額, 摘要. Rows include 収入の部 (会費収入, 終身会費収入, etc.) and 支出の部 (会報作成費, 会員名簿作成費, etc.).

Table with 2 columns: 同窓会引当特定預金, 残高(単位/円). Rows include 同窓会引当特定預金 and 残高合計(2015.3.31).

●平成27年度 東北文化学園大学同窓会収支予算書

第13期(平成27年4月1日~平成28年3月31日)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 26年度予算額, 増減, 摘要. Rows include 収入の部 (A 会費収入) and 支出の部 (A 事業費支出).

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 26年度予算額, 増減, 摘要. Rows include 支出の部 (B 会議費支出, C 事務費支出, D 同窓会引当特定預金への支出).

ホームカミングデーのご案内

キラレンジャーサロン 「クッキーカフェ」

ゲストを招き同窓生、在学生、教職員、旧教職員、関係者の参加によるフリートークを兼ねた懇親会です。皆さん友人を誘って集り、盛り上がりましょう。
日時：平成27年10月17日(土) 11:00~14:00
場所：東北文化学園大学キャンパス内
★ゲストとして10周年イベントにも来ていただきました、手話シンガーとしてご活躍の本学卒業生 水戸真奈美さんも来学の予定です
美味しいクッキーと飲み物を用意します ※参加無料
手伝っていただけるOBの方募集(連絡は同窓会事務局まで022-233-6194)



文化学園祭2015開催のお知らせ

ピース つながり
テーマ「PIECES~Let's繋ring!!」
開催日：平成27年10月17日(土)・18日(日)

文化学園祭実行委員会です。今年のテーマは「PIECES~Let's繋ring!!」です。

これには、「学園祭に携わる一人一人をパズルのピースに見立て、誰か一人でも欠けたらパズル(学園祭)は完成(成功)しない。みんなで協力し、ひとつのものを作り上げていこう」という思いが込められており、このテーマに基づいて日々活動をしています。

今年も芸能人企画を実施します。音楽ライブとお笑いライブとで2日間に分けて行う予定です。詳しい告知は出来ないのですが、老若男女問わず、幅広い層の方に楽しんで頂けると思います。

今年は「第1回文化学園祭B級グルメ大会」と称しまして、学生たちによる屋台を投票形式で競って頂きます。見事、栄えある1位を手にした団体には豪華賞品を用意しております。

た団体でも、3位までは入賞という形で賞品を用意しております。活気ある屋台を目にすることが出来ると思います。

実行委員会では、テーマに沿った構内装飾をします。どのような装飾物になるかは、当日までのお楽しみになります。特設ステージでは実行委員自らも企画を提案し、学園祭を盛り上げます。

来場者の方々に楽しんでもらえるために、実行委員一同、精一杯努力していきますので、「文化学園祭2015」をよろしく願います。

文化学園祭実行委員長 島山 拓也(総合政策学部 総合政策学科3年)

同時開催
10/18(日)
TBGダンスイベント
ゲスト:エブスプローション



あの感動を今年も! "第九コンサート"

今年もTBGUプロジェクトI「第九コンサート」が開催されます。寺岡清高氏指揮、仙台フィルハーモニー管弦楽団演奏による本学混声合唱団を中心とした他大学や市民の合唱団による第九コンサートです。



平成26年度 第九コンサート(東京エレクトロンホール)

開催日：平成27年11月7日(土) 15:00開演
会場：東北大学川内萩ホール(青葉区川内)

平成27年3月卒 同窓会新役員

平成27年4月より、東北文化学園大学同窓会活動を支える卒業生の皆様の代表(幹事)、全15名の方々です。皆様よろしく願います

Table with 3 columns: 学科, 専攻, 氏名. Lists names of representatives from various departments like 理学療法, 保健福祉, 看護, etc.

大学近況報告



入学式
2015.4.4



朝食会
2015.4.6・8



学外研修
2015.4.8・9



医療福祉フォーラム
2015.5.24



感謝の日
2015.6.27

Eサポ(教育支援センター)がリニューアルオープンしました

4月2日に1号館1階にあったEサポが地下の学生ホールに移り、リニューアルオープンしました。新しい設備が備わった空間で学生たちも活き活きと学修などに取り組んでいます。

同窓会からもシナモンの鉢植えを贈り、快適な空間づくりに一役買わせていただきました。



同窓会からシナモンの木を贈りました

快適トイレ空間

1号館1階図書館の隣にあるトイレが快適な空間にリニューアルされました。男女とも内装がちょっと豪華になりウォシュレット機能のトイレになりました。女子トイレはパウダールームも備えおしゃれな空間になりました。



女子パウダールーム

科学技術学部臨床工学科設置(平成28年4月開設)

平成28年4月に科学技術学部4年制大学では東北に初めて臨床工学技士を育成する臨床工学科が設置されます。

臨床工学技士(国家資格)は「いのちのエンジニア」呼ばれ、医療機関において「生命維持管理装置の操作および保守点検を行う医療機器のスペシャリスト」として活躍しています。発展を続ける医療の中で、高度医療を支える医療チームの一員として、医師や看護師と共に働く重要な役割を担います。専門的な工学知識を持った唯一の医療従事者です。



仙台駅で開催されたイベント
(2015.7.24-25)

輝人

「自分が自分らしく生きるための努力」

医療福祉学部 保健福祉学科 保健福祉専攻
平成19年3月卒業 高橋 直樹

医療福祉学部保健福祉学科を卒業し、卒業後はブルデンシャル生命保険株式会社ドライデンカスタマーセンターに勤務をして9年が経過しております。

私は先天性障害で手の手術後、リハビリの一環としてピアノとマリimbaを始めましたが人前で演奏をするために始めたわけではありませんでした。しかし、今では仕事と演奏活動を両立することでハリのある人生を過ごさせていただき、音楽を教えてくれた親にも感謝しております。

大学2年に第一回ピアノパラスピックに出場し奨励賞を受賞し、その後も活動を続けてニューヨーク、カナダでも演奏をさせていただきました。今でも演奏活動をする中でも在学時に大学の友人が紹介してくれたバイト先とは今でも交流があり、宮城県障害者福祉センターでのライブメッセージや福祉まつりでの演奏をさせていただき、その縁から他施設での演奏や、11月には宮城女子学院大学や仙台メディアテークでの演奏をします。また大学の平野先生からも昨年は学会で公開特別演奏を企画していただき大変勉強になりました。

仕事をしながら演奏活動は大変です。休日は東京にも行き音楽の勉強もしており、少しでも納得のいく音楽を聴いていただけるようにと努力しております。

実家が東松島市で震災によりピアノとマリimbaが津波で使えなくなりましたが、マリimbaを購入し、会社がピアノと練習場所を提供してくださり今は仕事の後にピアノを休日はマリimbaを会社で練習しております。

今は10月の東京国際フォーラムで開催されるゴールドコンサートに向けて、月2度の東京でのレッスンを受けながらゴールドを受賞できるような努力をします。

自分が自分らしく生きるために努力、そして周囲の支えがあったからこそ今の自分があるということ仕事を、演奏を通して伝えていきたいと思っております。



「出会い、そして今の私にできること」

医療福祉学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻
平成18年3月卒業 本間 里美(旧姓 松田)

「私のお母さんは私が20歳になるまで生きていられないかもしれないの」私が中学校の時、大親友は私に言いました。何も言えない私がいま。臨床実習で地元病院に行った時、あるALS患者さんの病室を見学させてもらいました。挨拶をすると「文字盤」で一言、「さとみちゃん、良い理学療法士さんになってね」と言葉をかけてくれたのです。

この病気が、全身の筋肉が麻痺していく進行性の疾患です。認知機能は障害されませんが進行につれて、呼吸器をつけて生活をしていく必要があります。これが、私とALSとの最初の出会になります。それから10年、私は現在、ALS患者さんが経営する訪問介護ステーションで理学療法士の資格を生かしながら患者さんを支援する仕事をしています。また、日本ALS協会のコミュニケーション支援委員として活動しています。呼吸器をつけて生きる選択をし、親友の成人式を見届けて天国に逝った友人のお母さんに恥じないように今の私にできることを続けていきたいです。



「人生は一度きり」

医療福祉学部
リハビリテーション学科
作業療法専攻
平成19年3月卒業
齋藤 真里
元青年海外協力隊 作業療法士隊員
平成24年度2次隊 コロンビア派遣



大学卒業後、福島県の総合病院に作業療法士として就職しました。入職時は仕事に慣れることや知識獲得のための勉強で忙しい日々でしたが、その分やりがいもあり作業療法士の仕事が好きでした。きっとこのまま働いて過ごしていくのだらうと思っておりましたが、そんな私に転機が訪れます。東日本大震災です。

震災後、より死を身近に感じるようになり、「明日死んでも後悔しないか?」と考えるようになりました。結果、後悔しないようにやりたいことをやろうと決断し始めたのです。まずは、自分は何がしたいのか、何ができるのかを考えました。そこで出た答えが青年海外協力隊です。自己満足ですが、私の職業を必要としている所で誰かの役に立ちたかったのです。また、自分の存在を肯定したかったんだと思います。

現在は任期を終え日本に戻ってきましたが、協力隊として活動できた2年間はとてもし経験になりました。人生は一度きりなので、後悔しないようにこれからもやりたいことをやって生きていきます。

「Love in Action」

献血サークル
科学技術学部 知能情報システム学科4年 佐藤 淑人

私たち献血サークルは、昨年度同好会から活動を開始しました。最初は7人で活動していたのですが、サークルに移行した今では17名まで増えました。

活動の内容としては、学園に献血車がきたときに呼びかけをしたり自分たち自ら献血を行うというものです。サークル員全員が献血の大切さを熟知したうえで活動しているので、やらされているわけではなく一人一人が自ら進んで活動を行っています。学内だけではなく学外でも活動を行っています。血液センターで他の学生団体と勉強会を行ったり、デパートでの呼びかけボランティアや献血イベントへの参加など様々な活動を行っています。呼びかけを終えた後にみんなで話し合い、もっと参加者が増えるようにするためには、どうしたら良いかなどアイデアを出し合ったりして工夫をして日々勉強しています。学内での呼びかけの時は全館放送をしたり前もって告知をしたりして工夫をしています。

これからも学内、学外の活動に積極的に参加していきたいと思っております。



恩師から



元総合政策学部教授
吉水 弘行

同窓会こそ連帯の核に

私はこの3月で7年間の教職を終え、東京に戻りました。その間に総合政策学部長、評議員、学生部長、就職委員長に就き、学生たちと様々な交流をする機会を得ました。中でも、東日本大震災という未曾有の体験が、学生たちに新たな使命感と躍動を与えたのを忘れることができません。被災者に対するボランティア活動、学生同士の助け合い、そして全学を巻き込んだ被災地支援コンサートの取り組みによって、それまでのんびりとしていた学生たちが、必死で緊張した日々を送るようになり、顔が生き生きと輝きだしたのを思い出します。就職活動も、今までの「受け身的な」姿勢から、明らかに「攻め」の姿勢に変わりました。自分が本当は何をしたいのか、を本気で考える学生が増えたのです。

大学の文化は、このように世の中の刺激を受けて、どんどん進化していくのだと思います。内側からの学生の日々の活動に加え、実社会における卒業生の活躍、そして卒業生同士のつながりが、在校生の憧れを呼び、それが誇りにつながるのが理想です。同窓会は、その橋渡しをする役目を担います。本学はまだ創立20年に満たない若い大学ですが、その分卒業生と在校生の距離が近いメリットがあります。同窓会が連帯の核になって、TBGU文化の進化に向けて、一層の輝かしい活躍ができるのを期待しています。



元科学技術学部建築環境学科教授
現東北文化学園大学名誉教授
岡田 誠之

国見の丘での17年を振り返り

東北文化学園大学同窓会がスタートしてから10周年が過ぎ、次の10年に向かって1年目が過ぎようとしております。毎年約500名の方々が社会の一員として全国に巣立っております。東北科学技術短期大学2年、東北文化学園大学は開学から17年間お世話になり、平成27年3月で定年(68歳)となりました。多くの皆様のご支援によって無事定年を迎えることができましたことを心より感謝申し上げる次第でございます。学園のシンボルワード「輝ける者を育む」が近年さらに強化されてきております。大学の発展は、卒業生がいかに社会に貢献しているかにかかっております。三位一体という言葉がありますが、卒業生のみでなく教職員、学生も、それぞれの立場で活躍することによって母校が発展することになります。わたくし自身、東北文化学園大学の第1期卒業生と思いつつながら、先輩の目線で授業や短大生22名、学部生47名の卒研指導を行ってきたつもりです。この間、学園に様々な問題が生じましたが、歴史の中の山あり谷ありの一事象であったと受け止めております。おわりに同窓生が母校のシンボルワードを思い出すことも大切ではないでしょうか。このシンボルワードを心に、ますます活躍されますことを祈念申し上げます。